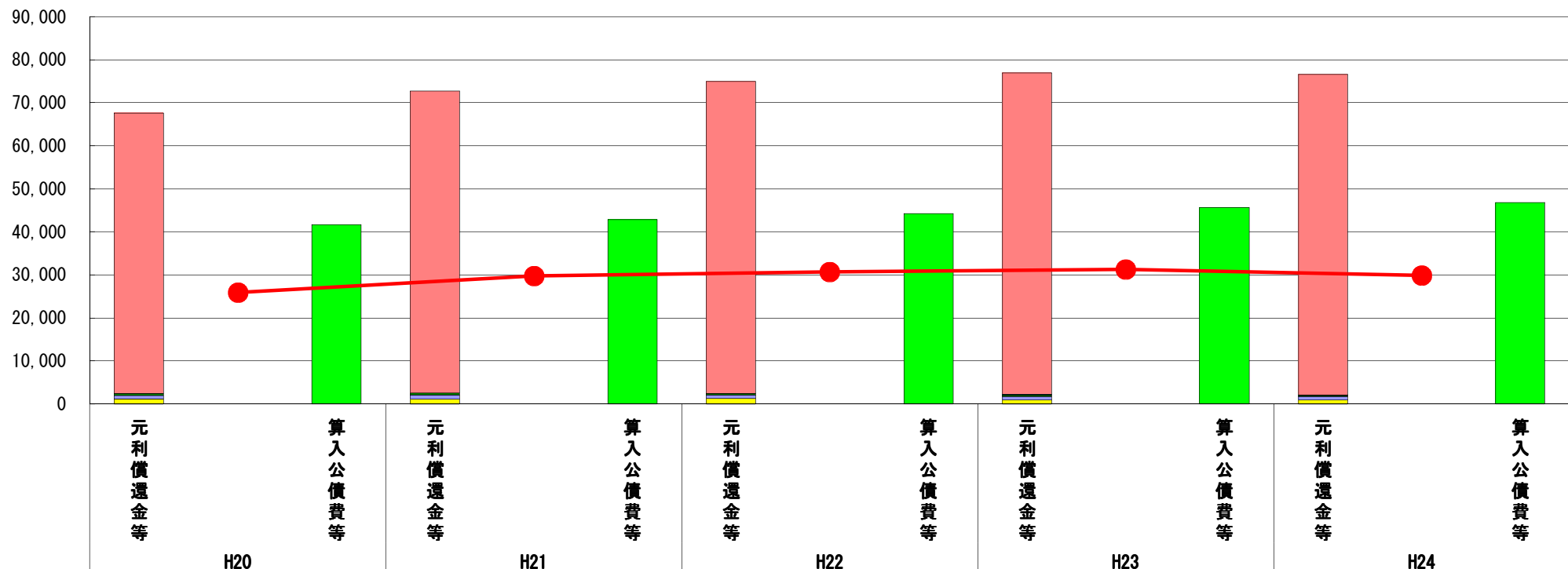


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

平成24年度

和歌山県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等 (A)	元利償還金		65,162	70,183	72,455	74,724	74,526
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	192	181
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		404	437	370	267	167
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		911	880	858	846	800
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		1,078	1,159	1,208	906	918
	一時借入金の利子		40	34	22	16	44
算入公債費等 (B)	算入公債費等		41,637	42,871	44,207	45,656	46,783
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		25,958	29,822	30,706	31,295	29,853

## 分析欄

退職手当債、行政改革推進債等の資金手当債の償還額が増加しているものの、公共事業等債、公営住宅建設事業債等の償還額が減少したことから、基準財政需要額に算入される公債費等を控除した分子の額は前年度に比べて14億円減少している。  
 今後は、退職手当債等の交付税措置のない地方債の償還が本格化し、公債費は増加していくと考えられるため、引き続き資金手当債の発行を抑制するとともに、20年償還を基本としていた銀行等引受債の30年償還への転換を継続し、公債費負担の平準化に努めていく。

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。